

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月24日

計画の名称	地域における下水道の総合的な推進（防災・安全）（第3期）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和03年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	町田市												
計画の目標	・下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,386	A	3,386	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29年当初	H31年末	H33年末
1	浸水被害を軽減するため、浸水対策達成率を37.2%から38.2%にあげる。 雨水管面積整備率 雨水管整備済み面積 / 計画雨水管整備面積	37%	38%	38%
2	避難施設にマンホールトイレを整備し、整備率を22.0%から67.6%に増加させる。 避難施設へのマンホールトイレ整備率 マンホールトイレ整備箇所 / 避難施設（71施設）	22%	51%	68%
3	処理場施設の地震対策を実施し、耐震化率を56.7%から60.1%に増加させる。 処理場施設の耐震化率 耐震化済み延べ床面積（m2） / 処理場の延べ床面積（m2）	57%	60%	60%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	町田市	直接	町田市	終末処理場	新設	地震対策事業	調査・設計・対策工事・耐震補強工事・マンホールトイレ整備工事	町田市						883		策定済
		種別1:ポンプ場・管渠(汚水)を含む H29-33地域における下水道の総合的な推進(防災・安全)(第2期)にて同事業を実施。全体事業費514百万円、整備実績 マンホール耐震補強3基																	
	A07-002	下水道	一般	町田市	直接	町田市	管渠(雨水)	新設	浸水対策事業	雨水管整備	町田市						2,503		-
		H29-29地域における住環境の改善及び浸水対策の推進(第2期)(重点計画)にて同事業を実施。全体事業費 2,503百万円、整備実績 管渠(雨水)456.95m																	
												小計						3,386	
											合計						3,386		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
町田市の下水道事業は町田市下水道事業計画に基づき実施している。そのため、市の下水道事業や経営計画について評価、審議するにあたり、事後評価を町田市下水道事業計画評価委員会にて実施する。	令和5年2月
	公表の方法
	市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【地震対策事業/処理場】：事業実施期間にて、耐震補強工事を実施し、処理場施設（成瀬クリーンセンター）における耐震化率が60.1%へ向上した。</p> <p>【地震対策事業/管渠】：市内の避難施設へマンホールトイレを整備することで、災害時においても下水道の果たすべき機能を保持し、清潔かつ衛生的な環境の確保に努めた。5か年で33施設に整備し、整備率が69.0%に向上した。</p> <p>【浸水対策事業/管渠】：浸水履歴から優先度の高い対策箇所において雨水管整備を実施した。浸水被害の軽減を図り雨水管整備率が37.2%から37.6%へ向上した。</p> <p>また、2022年時点では、雨水管整備を実施した箇所において浸水被害は確認されていない。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>各事業は次期計画である「地域における下水道の総合的な推進（防災・安全）（第4期）（重点計画）」にて継続して取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理場施設の地震対策は、「町田市下水道総合地震対策計画（第 期）」に基づき耐震化を確実にすすめ、建築物の構造強化を図り、処理場施設の耐震化率の向上に努める。 ・マンホールトイレ事業について、引き続き市内の避難施設にマンホールトイレを整備し、災害時における避難施設のトイレ機能の確保に努める。 ・浸水被害の軽減のため、過去の浸水履歴から抽出した優先度の高い対策箇所において、雨水管整備などを行います。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	雨水管面積整備率		
	最終目標値	38%	計画当初は69haに対し、浸水対策を実施予定だったが、事業実施に際しての課題整理、関係機関との調整や他企業埋設管移設に多くの時間を要し、実施年度中に事業が完了できないことで計画内実施面積は24haとなり、目標の達成に至らなかった。
	最終実績値	38%	
2	避難施設へのマンホールトイレ整備率		
	最終目標値	68%	計画内で31箇所の整備予定だったが、校舎更新にあわせてマンホールトイレの先行整備を2箇所で行ったため、計画期間内における整備実績が33箇所、整備済施設数は49箇所/71箇所となり、目標値を上回った。
	最終実績値	69%	
3	処理場の耐震化率		
	最終目標値	60%	「町田市下水道総合地震対策計画（第 期、第 期）」に基づき、沈砂池ポンプ棟（地上部）及び次亜塩素タンク棟の耐震補強工事を実施し、耐震化済みの延べ床面積は、約28,071㎡となり、成瀬クリーンセンター（全延べ床面積約46,711㎡）における耐震化率が、目標値の60.1%に向上した。
	最終実績値	60%	